

発行者：秦野市議会議員

やひろ伸二



議会だより

連絡先：

〒259-1392 秦野市堀山下1番地

TEL. 0463-88-2777 (後援会事務所)

ホームページ：http://www.shinjiyahiro.com

令和3年6月秦野市議会第2回定例会の報告！

令和3年6月秦野市議会第2回定例会が6月3日～6月22日の会期で開催され、新型コロナウイルス感染症対策の補正予算を含む市長提出議案13件、報告7件、陳情3件、議提議案1件、委員会提出議案1件などを審議・議決し閉会しました。主な内容は以下の通りです。



1. 給食センターの準備(条例・食器など)



建設が進む秦野市学校給食センター

いよいよ、中学校向けの給食提供が12月に迫っている中、秦野市学校給食センター(愛称：はだのっ子キッチン)の運営に関する条例、ならびに、給食で使用される食器や食缶等の売買契約の承認を求める議案、合計3件が提出され、賛成全員で可決しました。

条例では、秦野市学校給食センターにセンター長、その他必要な職員を配置することなどが明記されました。また、運営に必要な食器や食缶については下記を購入します。中学校向けの給食提供は、これまでも市民からの要望も多く、ようやく実現することになりましたが、運営には毎年約3億円の経費が必要と試算されており、財源の目途は未だに立っていません。今後、財源確保がなされるよう、働きかけていきたいと思っております。

＜中学校給食に使用される食器等の名称と数量＞

種別	名称	数量
食器等 (消耗品)	食器(ボール)	10,000枚
	食器(深皿)	5,000枚
	トレイ	5,000枚
	スプーン	5,000個
	フォーク	5,000個
	箸	5,000膳

＜食器等の売買契約先と金額＞

落札先	新日本厨機株式会社
落札額	27,764,000円(税込)

＜中学校給食に使用される食缶＞

種別	名称	数量
食缶等	ステンレス製角型二重食缶	600個
	食缶用ゴムパッキン	150個
	食缶用敷網	150個

＜食缶等の売買契約先と金額＞

落札先	株式会社島半
落札額	24,440,548円(税込)

2. 消防ポンプ付救助工作車の購入



配備予定の鶴巻分署

鶴巻分署で使用している消防車の老朽化に伴い、ポンプ付救助工作車を購入することが提案され、賛成多数で可決しました。

詳細は下記の通りです。

＜ポンプ付救助工作車の詳細＞

金額	52,580,000円(税込)
契約相手	日本機械工業株式会社
納入期限	令和4年1月26日
車両概要	寸法：全長5.8m/全幅1.89m/全高2.85m 排気量：4,009cc 燃料：軽油 変速装置：オートマチック 乗車定員：5名 駆動方式：二輪駆動 主な装備：電動ホースレイヤー、三連はしご、大型油圧救助器具、可搬式ウィンチ、エンジンカッター、信号器付投光器、災害救助用エアージャッキ

3. おおね公園温水プールの熱源機器更新工事



熱源機器更新予定のおおね公園温水プール棟

おおね公園温水プール棟の熱源機器更新工事の契約及び財産を取得する提案がされ、賛成全員で可決しました。詳細は下記の通りです。

＜温水プール棟の熱源機器等の詳細＞

金額	206,917,837円(税込)
契約相手	ヨコレイ・みどりや共同企業体
工事完了	令和4年3月14日
工事概要	おおね公園温水プール棟の熱源機器、空調機等の更新及び屋上防水の改修

令和3年6月 第2回定例会 一般質問内容 やひろ伸二



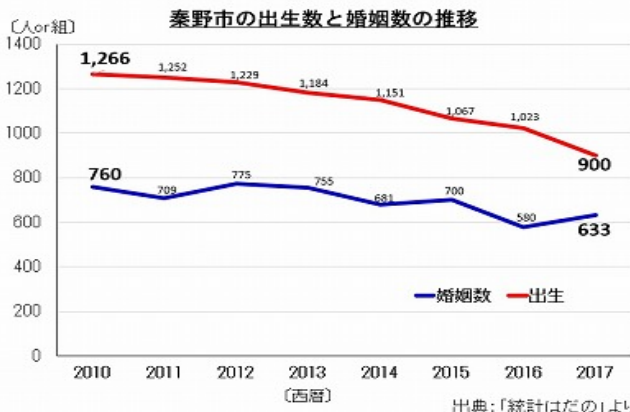
欧州や米国などではワクチン接種が進み、にぎわいを取り戻しつつあります。羨ましく感じますが、本市のワクチン接種も順調に進んでいます。本市の未来を見据え、にぎわいを取り戻すため質問を行いました。主要な内容を下記に記載致します。

1. 街のにぎわい

(1) 婚活との関係

質問

- ① 街のにぎわいは、あちこちで子どもたちの声が聞かれることだと考えているが、本市の出生率は平成22年から7年間で29%減、婚姻数も17%減となっている。これまで本市は、「秦野本気婚」を8回実施してきたが、目的は何か？



- ② 昨今の婚活事情からすると、行政が主体となった場合、個人情報保護法によりカップル成立後の経過フォローが困難となり、成婚に至らないのではないかと。今後の婚活事業をどのように展開していくのか？

回答

- ① 目的は、秦野市後継者育成事業の一環として、市内で事業を営む若手経営者や商業者に出会いの場を提供し、良きパートナーを得て、秦野の地で温かく幸せな家庭を築き、それを原動力に、次代の経営者として事業を引き継ぎ、地元で活躍することで街の活性化を図ることである。
- ② 現在、来年度からの事業化を目指し、庁内検討組織の立ち上げ準備を行うとともに先進事例等の情報収集に努めている。併せて、県内の自治体や企業との結婚支援に係るネットワークの構築を見据え、県が推進している結婚支援事業である「恋カナ！プロジェクト」のプラットフォームへの登録を検討している。今後、専門業者へのヒアリング等も行い、新しい生活様式にも対応した具体策の検討を進め、街のにぎわい創造や移住、定住促進につなげていきたい。

◆◆ 意見・要望 ◆◆

県のプロジェクトを活用することを否定しないが、専門事業者(結婚相談所など)からも話を伺うことや、課題や成果などを踏まえ目標を明確に設定し、取り組んで欲しい。

(2) ストーリー(物語)の重要性

質問

- ① 昨年11月1日に「はだの歴史博物館」が、「桜土手古墳展示館」をリニューアルする形でオープンし、古墳などを含め秦野市の歴史が集約されているが、今現在のメインとなる歴史は何か？
- ② 市内には国の登録文化財が多くある。特に日本一美味しい水を売りにしている本市としては「曾屋水道」は全国に誇れる文化財であり、沢山のストーリーが潜んでいると思うが？
- ③ 源実朝公御首塚の調査等で新たに判明した事実はあるのか？



<明治時代の曾屋水道>

回答

- ① 本市には、4つのメインストーリーがある。1つ目は「桜土手古墳群と古代人の祈り」、2つ目は「奈良・平安時代から江戸時代の秦野」、3つ目は「葉タバコ耕作と秦野」、4つ目は「秦野の近代化と発展」で、誰もが楽しく学ぶことができ、本市の歴史と文化遺産を再発見・新発見できる生涯学習の拠点となる博物館をめざしており、見学者が自由に独自のストーリーを発見できるようにしている。
- ② 曾屋水道の設計者は神奈川県から派遣された技師、岩田武夫氏で経歴は不明とされてきたが、明治時代前半の日本人技術者という視点から調査し直したところ、電気事業者の中に岩田氏の名前を確認できた。岩田氏は工部大学校電信科の二期生で、「日本のエジソン」と言われる東芝の前身東京電機の初代社長となった藤岡市助氏の一年先輩であり、2人が並んでいる写真も山口県岩国市にある岩国徴古館に遺されていることが分かった。
- ③ 金剛寺の阿弥陀三尊像も昭和53年度から60年度にかけて行った仏像調査では江戸時代の作となっていたが、近年の研究で鎌倉時代に遡るものであり、『新編相模国風土記稿』にある金剛寺の阿弥陀堂の「三尊阿弥陀」である可能性が高いことが分かった。



<金剛寺 三尊像>

◆◆ 意見・要望 ◆◆

曾屋水道や源実朝公御首塚について、新事実が明らかになった。この貴重な発見を「にぎわい」に繋げるためにも、マンガやイラストなど興味を引くような工夫を凝らし、周知して欲しい。